

子供用のテキスト

HP ベネッセ教育情報

(インターネット安全ナビ)

<https://benesse.jp/contents/anzen/>



上記HPの目次は、次のとおりです。

- (1) 保護者の方に向けて <文書>
- (2) **お子様へ向け <ビデオ説明>**
- (3) 体験から学ぼう！(インターネットやケータイの危険性)

保護者向けの説明文を見てから、

お子様向け<ビデオ説明>と一緒に見ると大変参考になります。

◎自宅で、上記の(2)お子様向け<ビデオ説明>を お子様と一緒に見てください。

(この会場でもビデオを見て頂きます)

タブレット端末などを渡す前におきたい設定・約束

子供がパソコンにさわり始める前に物事の善悪を教えることが大事です。

他人のメールを盗み見たり、友達を匿名のメッセージでからかうなど、好ましくない行動を取ったらきつく叱ってください。

「ネットいじめ」から子供を守ろう！

最初はいたずら心で始めた行動もエスカレートします。

子供がきちんと理解するまでしっかり話し合うことが大切です。そして、オンライン上でも責任ある行動と、適切な判断ができる力を身につけさせる必要があります。

子供マナー

1. ネットゲームなどにお金を使わない。
(子供のスマホへクレジットカード登録しない)
2. SNSなどで相手に迷惑をかけない。
3. 何が正しいか、子供自身でよく考えてから使うよう指導。

◎5つのアドバイスを紹介します。

1. セキュリティ教育は低年齢時から

セキュリティ教育は、低年齢時からスタートすることが肝心です。ネットサーフィン始める3歳頃から、子供の成長に合わせ十分に時間をかけて反復学習させましょう。インターネットで視聴できるものが、好ましい内容や家庭の価値観に沿うものとは限らないことを必ず教えてください。

2. まずはパスワードからスタート

パスワードは最も初歩的なセキュリティ対策です。最初は、簡単に覚えられるパスワードを教え、誰にも言わないよう言い聞かせてください。小学校に入学したら、簡単に思い出せて推測されにくいパスワードを自分で作らせ、その後スキルに合わせて複雑なものにすると良いでしょう。3カ月に1度はパスワード変更することも習慣づけてください。

3. オフラインと同じ振る舞いを

オンライン上では、12歳の女の子だと自己紹介していたのが実は40歳の男だったという事例はたくさんあります。実生活で知らない人について行ってはいけないように、オンライン上だけで接点のある「見知らぬ人」とは、絶対に会わないよう言い聞かせてください。同じように、実生活で友達に言ってはいけないことは、オンライン上でも絶対に言ってはいけないことを理解させましょう。

4. ソーシャルメディアに個人情報を投稿させない

ソーシャルメディアに投稿した自分の個人情報は、友達以外の目に触れる可能性があります。仮に削除しても多くはネット上に残り続けることを認識させてください。また子供が使用しているソーシャルメディアのプライバシー設定が安全な状態になっているか必ず定期的に確認しましょう。なお、Twitterはフォローに関する以外プライバシーの設定がないため、個人情報には充分注意が必要です。

5. 与える前にインターネット機能の確認を

ノートパソコン、タブレット、スマートフォンなどを子供に買い与える場合は、直接インターネットに接続できるか必ず確認してください。直接つながるようであれば、安全に接続する方法を併せて確認してください。子供の適切なインターネット利用のためには、パソコンを家族の目に留まる場所に置くことも有効です。夜間は無線LANをオフにすることを検討しても良いでしょう。